

伯耆町定例表彰式

伯耆町定例表彰式が4月26日（火）、農村環境改善センターで行われ、8名の功労者が表彰されました。

この表彰は、公

共の利益や福祉の増進に貢献された人、自治会、地域活動の推進に貢献された人などを表彰するものです。

今年の功労表彰者8名には、森安保町長から表彰状を贈呈しました。

伯耆町表彰条例表彰者

※順不同、敬称略、（）内は表彰された功績

功労表彰

- ・井上祥一郎（民生児童委員）
- ・仲田富美恵（民生児童委員）
- ・野上 和男（民生児童委員）
- ・樋口 春子（民生児童委員）
- ・遠藤 啓子（民生児童委員）
- ・大下 修一（保護司）
- ・武田 直人（学校医）
- ・吉川 明秀（自治会、地域活動等）



式に参列した表彰者の皆さん
（前列左から、吉川明秀さん、大下修一さん、樋口春子さん、野上和男さん、仲田富美恵さん）

放課後子供教室開所式

4月19日（火）に、岸本小学校で放課後子供教室の開所式が開催されました。

伯耆町では、教育委員会が事業主体となり、小学校の施設等を活用し、放課後に子ども達の安全・安心な居場所をつくることもに地域の方をはじめ、様々な人達の協力を得ながら学びやスポーツ・文化活動等の取組を提供しています。

岸本小学校放課後子供教室では、現在30名以上の児童が活動しています。当日は指導員や教育委員会事務局参事から開所にあたっての挨拶を聞いた後、読み聞かせの活動、計算・漢字の学習活動などを行いました。



開所式での指導員挨拶の様子

毎月19日は食育の日です

〜栄養豊富な県産・町産食材を食べて元気もりもり〜

毎月19日は「食育の日」です。食育とは、よい「食」生活を自分で一生実践していける力を「育」てることをいいます。

伯耆町の学校給食では、毎月19日の食育の日に私たちの住んでいるふるさとに伝わる料理や、地元でとれる食材を使った給食を出しています。4月の食育の日は、鳥取県産の豚肉や伯耆町産の白ねぎ、生姜を使った子どもたちに大人気のスタミナ納豆でした。

学校給食センターでは伯耆町の生産者約40名の方に協力していただきながら毎日旬の野菜を使った給食を作っています。ふるさとの恵みを味わう中で、伯耆町や鳥取県の良さに気づき、ふるさと伯耆町を大好きになっくれることを願っています。

さらに、6月は「食育月間」です。食育をすすめる主役は「家庭」です。食を通して健やかに生きる力を家族全員で身に付けられるよう、毎日の食事について振り返ってみましょう。



4月19日の「食育の日」給食

4月19日の学校給食の献立

ごはん／牛乳／スタミナ納豆／さつまいもサラダ／じゃこの元気汁

《伯耆町産食材》

米（星空舞）、白ねぎ、生姜、さつまいも、小松菜